

せい れき	ねん ごう	村 の で き ご と	こうつう・つうしん	く ら し
1942	17			○県立田村農蚕学校への通学がはじまった。
1941	16			○満州にうつりすむ人がおこなった。
1940	15			○ごう雨があった。
1939	14		○木炭車バスがはしりはじめた。	○千ばつ、水をあげるのにポンプを使うようになった。
1938	13			○兵隊に出された人100名ぐらい。
1937	12		○蓬田局が電信、電話をはじめた。	○10数名の戦死者がでた。
1934	9			○大凶作となった。
1933	8			○大豊作となった。
				○小平の彫刻家遠藤友治さんがなくなった。
1932	7			○欠食児童が多くなった。
1931	6		○貨物自動車、バスが小野新町まではしった。	○児童売買が多くなった。
1929	4		○須賀川行きのバスが開通した。	○冷害、凶作。
1927	2			○西山発電所ができ、平田村に電とうがつく。
	大正			
1926	15			○小平村に10軒分の発電所が所ができ、昭和9年までつづいた。
1925	14	○25才以上の男子が新有権者になった。		
1924	13		○曲山—小野新町の道路を広げはじめた。	
1923	12			○小平郵便局がはじまった。
1922	11	○郡長がはいしされた。		○広野広中がなくなった。
1920	9			○母畑発電所ができた。
1918	7			○スペインかぜがはやった。
1917	6		○磐越東線が全線開通した。	
1915	4		○磐越東線三春—小野新町開通した。	
1913	2			○大凶作、大水がでた。
	明治			
1912	45		○鉄道の工事がはじまった。(小野)	○蓬田に自転車がはいった。
1905	38			○大凶作
1904	37	○日露戦争がおこった。		○9名が戦死した。